

# 英語 入試分析

2018年度神奈川公立高校共通選抜

～入試ではこう出る!!～

## 【主な特徴】

- ① 設問数は昨年から減少(30→27)したため1問あたりの配点が増。英作も昨年から減少(3→1)。
- ② 英作問題(表現力)のウェイトは低下し、確かな読解力と文法力を求める構成に変化。

## 【出題形式】

### 問1:リスニング

→配点が19点から21点に増加。問題(ウ)ではアンケート結果を発表する放送を聞き、表を埋める問題が出題された。英作問題は消滅し、代わりに英単語(abroad)を入れる問題に変更されたが、放送文にない単語なので語法の知識も必要な難しい問題。

### 問2:空欄補充(単語)

→入れる語は traditional, dictionary, useful で流れもつかみやすく容易だがつづりが長いのでミスに注意。

### 問3:適語(語句)選択

→配点が8点から12点に増加。基礎的な文法知識があれば易しい。

### 問4:整序英作文

→配点が12点から16点に増加。(ウ)の関係代名詞の省略と現在完了を混ぜた並び替えは難問。

### 問5:イラスト英作文

→条件英作文がなくなり、イラスト英作1題のみとなった。文脈から「それはいつ返却されますか」を returned を用いて作る問題だが、同種の英文を書いたことがないと手こずる。

### 問6:資料活用読解

→「浜辺をきれいにするためにどうすべきか」がテーマの英文。文章後半から「川からごみが流れ込んでくる」という趣旨に論点がることを捉えないと(イ)(ウ)は厳しい。

### 問7:図表読解

→昨年の3題から2題に減少。電話で話す二人の会話をもとに地図上での位置を答える問題と、旅行のパンフから好みに合ったツアーを選ぶ問題。いずれも平易な問題。

### 問8:長文読解

→プログラミング学習をテーマにした会話問題。カードの並びを答える問題では混乱する生徒もいたと思われる。

## 実際の問題にチャレンジ! 問4 整序英作問題

次の(ア)~(エ)の対話文が完成するように、( )内の六つの語の中から五つを選んで正しい順番に並べ替え、その順に番号を書きなさい。(それぞれに一つずつ不要な語があるので、その語は使用しないこと。)

(ア) A: Atsushi, ( 1. like 2. better 3. which 4. you 5. have 6. do ), spring or fall?  
B: I like fall better.

(イ) A: Do you ( 1. as 2. do 3. what 4. know 5. to 6. should ) a volunteer this afternoon?  
B: Yes. We need to clean the park.

(ウ) A: What do you want to do when you become a high school student?  
B: Well, I want to ( 1. things 2. I've 3. every 4. never 5. done 6. try ) in junior high school.

(エ) A: Do you know ( 1. how 2. is 3. be 4. will 5. the 6. weather ) tomorrow?  
B: Yes, I do. It'll be sunny and warm.

《解答》(ア)3-6-4-1-2 (イ)4-3-5-2-1 (ウ)6-1-2-4-5 (エ)1-5-6-4-3

## 【新中2・新中3生へ】

今年は文法問題と長文問題が軸になる構成でした。文法問題は中学で習う基礎的な単元をしっかりと学習するのはもちろんのこと、異なる文法単元を複合して解答する応用力も必要です。また、長文はラッシュリーディングを活用し、一文が長くても速く正確に内容をつかめるように訓練していきましょう。英語力は一朝一夕に向上しません。単語・英文法・読解力をバランスよく伸ばしていきましょう。